

【第6部】 病 理 學 部 （主任 助教授 家森武夫）

【業 績 目 録】

- 1) 家森武夫：成人肺結核症の発生と進展に関する病理学的考察…………… 3
京都大学結核研究所創立十周年記念講演（昭.26.6.16）
- 2) 宇野 宏：成人肺結核症の発生に関する病理学的研究 続編
（其の1）外來性再感染に関する病理解剖学的研究補遺……………168
（其の2）肺の二次結核病巣の血行轉移性発生に関する病理学的研究補遺……………172
（其の3）初感染性氣道傳播による二次性結核病巣形成に関する病理学的研究補遺……………176
- 3) 稻葉通信：種々の複素環式化合物の結核化学療法に関する研究
（其の3）Benzothiazole 誘導体の結核菌発育抑制作用に関する研究（11）……………180
- 4) 稻葉通信：種々の複素環式化合物の結核化学療法に関する研究
（其の4）Thiazole 誘導体の結核菌発育抑制作用に関する研究（11）……………184
- 5) 稻葉通信：種々の複素環式化合物の結核化学療法に関する研究
（其の5）Pyridine, Pyridothiazole, 及び Phenyl-Pyridylether 誘導体の結核菌発育抑制作用に関する研究（11）……………187
- 6) 岩井孝義, 家森武夫, 宇野 宏, 出目 弘：初感染性病巣形成の年齢による変化に就て
- 7) 岩井孝義, 家森武夫, 宇野 宏, 出目 弘：京都市の解剖学的結核症とツ反應陽性率
- 8) 家森武夫, 神戸嘉道, 羽田 淳：白血球の貪食機能に就て（メラニン顆粒による新しい貪食試験法）
- 9) 家森武夫, 宇野 宏：肺結核の病理（第6報）, 肺門部近傍の初感染巣並びに成人の二次肺結核症の発生
経路に就て 第40回日本病理学会総会（東京大学）発表（昭.26.4.4）
日本病理学会会誌, 第40巻 総会号 350, (1951)
- 10) 家森武夫, 宇野 宏 出目 弘, 奥田芳明：病理学的にみた肺の初感染の特性と肺の二次結核症の発生に
就て 日本結核病学会第3回近畿地方会（大阪市立医大）発表（昭.26.5.12）
- 11) 出目 弘, 宇野 宏：肺囊胞の頻度と結核
結核研究会第23回講演会（京大附属医院）発表（昭.26.10.30）
- 12) 小松知爾：結核初感染成立の限界に関する実験的研究 同上発表
- 13) 西村忠一, 和邇秀俊, 奥田芳明, 出目 弘：孤立性血行轉移病巣の発生と肺及リンパ腺結核症との関係
同上発表
- 14) 家森武夫, 宇野 宏, 出目 弘, 奥田芳明：変死者に見られる外來性再感性巣に就て
第3回日本病理学会西部地方会（大阪大学）発表（昭.26.11.3）
日本病理学会会誌 第40巻 地方会号（1951）
- 15) 家森武夫, 奥田芳明, 出目 弘, 宇野 宏, 西村忠一, 和邇秀俊：結核性血行性轉移に関する病理解剖
学的研究（第一報）
日本結核病学会第4回近畿地方会（大阪大学）発表（昭.26.12.1）
- 16) 家森武夫, 宇野 宏, 出目 弘：病理解剖学から見た外來性再感染（第一報） 同上
- 17) 小松知爾：泡沫感染による肺の初感染巣成立に関する実験的研究 同上
- 18) TAKEO YAMORI : Pathological Studies on the Miliary Tuberculosis
Acuta tuberculosea japonica Vol. 1. No.2 (1951)
- 19) 家森武夫：結核初感染とその後の進展 Intern